

平成29年第3回定例会で意見が分かれた議案の採決

議席番号	議案番号	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			田中次廣	金子憲太郎	小林知誠	柴田恭成	高木和恵	吉田幸一郎	隈部和久	林田久富	小嶋光明	黒岩英雄	井上末喜	中村久幸	下田利春	川田典秀	隈部政博	吉岡巖	山本芳文	草柳寛衛	桑原幸治	松永忠次
認定第1号	認定		○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第2号	認定		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第3号	認定		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第5号	認定		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※○：賛成 ×：反対

賛否討論

分議ち見し
がたう意見
決れのな紹介
採か案主をま

〔認定第1号〕平成28年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成①

歳入は全体的に前年度よりも減少しているが、市税などの自主財源は増えている。

歳出についても、前年度比減少している中で、福祉関係や災害復旧費等は、増額して対応されている。特に、豪雨による農地災害に対する重機の借上げなどの寛大な措置に対しては、評価できる。

賛成②

実質収支額は18億7,479万1千円の黒字決算となっている。

交付税の中の柱となる普通交付税も、合併算定替の削減等で減額をしている厳しい財政状況の中にあっても、歳出については、定員適正化計画に沿った人件費の削減や、将来負担をかけるないように、繰上償還等も積極的にやっている。

また、特別会計等にも、この一般会計が苦しい中でも、約20数億の繰出金が行われている。

また、経常収支比率を見ても、前年度から、いくらか減少をし

ているが、84.4%となっている。経常収支比率は、その地方自治体の財政構造の弾力性を示すものであり、70%以下が、適正と言われている。しかしながら、本市の経常収支比率はまだまだ高い状況である。

今後は、人口対策、定住化、市民皆さん方の福祉の向上、こういったものについても積極的に取り組んでいくことを希望する。

反対① 理由は3点。

1、福祉面の施策がまだ不十分である。高齢者・障害者交通費助成の大幅増額、介護保険料や利用料、保育料の引き下げ、子供医療費の病院窓口無料化、学校給食費助成などが必要である。

2、国保会計への応援が不十分である。もっと繰入を増額し、国保税を引き下げるべきだと思う。

3、大型事業推進の立場に立っているということ。

反対② 南島原市は、自主財源に非常に乏しく、依存財源が高い。その中でも、自治会長の報酬、納税組合長の報酬、自治会活動補助金、それらを足してでも億単位予算がかかっている。

熊本県菊池市議会議員が南島原市を視察されました

議会ミニミニ通信

平成29年8月3日、菊池市議会広報特別委員会の方々が、議会広報紙の研修のため来市されました。

研修では、まず、本市議会議務局担当職員が、議会だよりの作成スケジュールや役割分担、記事の割り当て方法などについて説明を行いました。

その後の質疑応答では、表紙写真の素材の選び方や撮影方法、一般質問原稿の作成や掲載の仕方、紙面のタイトルやレイアウトの工夫など、活発な意見交換が行われました。読みやすく、分かりやすい広報紙を目指して、これまで両市が取り組んできた事など、多くの情報を交換でき、大変有意義な時間となりました。



研修の様子